

令和2年度東北農業試験研究推進会議作物生産推進部会
流通加工研究会 開催要領（案）

東北農業試験研究推進会議作物生産推進部会長
（流通加工研究会 運営責任者）
農研機構東北農業研究センター
水田作研究領域長 佐藤百合香

1. 趣 旨

東北農業試験研究推進会議運営要領に基づき、東北地域農業に係わる流通加工分野の試験研究を適切に推進するため、農研機構東北農業研究センター及び公設試験研究機関等の各分野の関係者が参集し、当該分野の今後の試験研究や推進方向を検討する。

本年度の推進会議本会議の重点検討事項に関しては、「アフターコロナの農業技術研究」について議論することとしている。このため、本研究会では「コロナ時代の流通加工研究」について議論する。併せて、食品・流通加工分野の研究開発についての情報共有を図る。

2. 開催日時 令和3年1月26日（火）13：15～16：30

3. 開催場所

アイーナ（いわて県民情報交流センター）研修室810
（〒020-0045 岩手県盛岡市盛岡駅西通1丁目7番1号）

4. 議 題

1) 情勢報告

「農研機構食品研究部門における研究トピックス」

農研機構食品研究部門食品分析研究領域 領域長 榊原 祥清

2) 重要検討事項「コロナ時代の流通加工研究」

話題提供

「チルド米飯ニーズと加工製造ニーズに即応する超多収低アミロース米系統の早期育成」

岩手県農業研究センター生産基盤研究部 主査専門研究員 小館 琢磨

農研機構東北農業研究センター生産基盤研究領域 主任研究員 安江 紘幸

3) 令和2年度成果情報の検討

4) 「最新農業技術・品種2022」候補の選定

5) 現場段階での重要な技術的課題の検討

6) 研究トピックの紹介

7) その他

5. 参集範囲

東北農政局担当官、東北地域6県公設試関係者、同行政・普及部局関係者、大学

関係者、農研機構等国立研究機関関係者、関係するアドバイザーボード委員、その他部会長が必要と認めた者

6. 新型コロナ感染防止対策

新型コロナ感染防止のため、以下の点についてご承知おきください。

- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大等の状況によっては、開催を中止とする場合や、オンライン会議またはメール会議等に開催方法を変更する場合があります。
- ・参加人数は収容人数の概ね 50%以下を目安としておりますので、出席者の人数を調整する場合があります。
- ・発熱や咳が続いている方、咽頭痛や倦怠感、嗅覚・味覚障害等の新型コロナウイルス感染症の可能性を疑われる症状がある方、政府から入国制限や入国後の行動制限が必要とされている国・地域等より帰国して 14 日を経過していない方は、出席をお控えください。
- ・会場の入口にて検温を実施しますので、ご協力をお願いいたします。
- ・出席する方は各自マスクをご持参いただき、会議室内等での着用をお願いいたします。また、咳エチケットをお守りください。
- ・会場入口に消毒液を用意しますので、入退室時の手指の消毒をお願いいたします。
- ・出席者等に新型コロナウイルスの感染者が確認された場合、感染経路や濃厚接触者の調査のため、保健所等の公的機関に参加者名簿を提示する可能性があることご承知おきください。

7. 連絡先

流通加工研究会事務局

農研機構東北農業研究センター地域戦略部 大谷隆二 E-mail: rotani@affrc.go.jp

〒020-0198 盛岡市下厨川字赤平 4 TEL: 019-643-3403 FAX:019-641-7794